

新潟焼山

概況（平成 18 年 8 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

地震及び微動の発生状況

新潟焼山付近を震源とする地震は観測されず、静穏に経過しました（図 1）。

火山性微動は観測されませんでした。

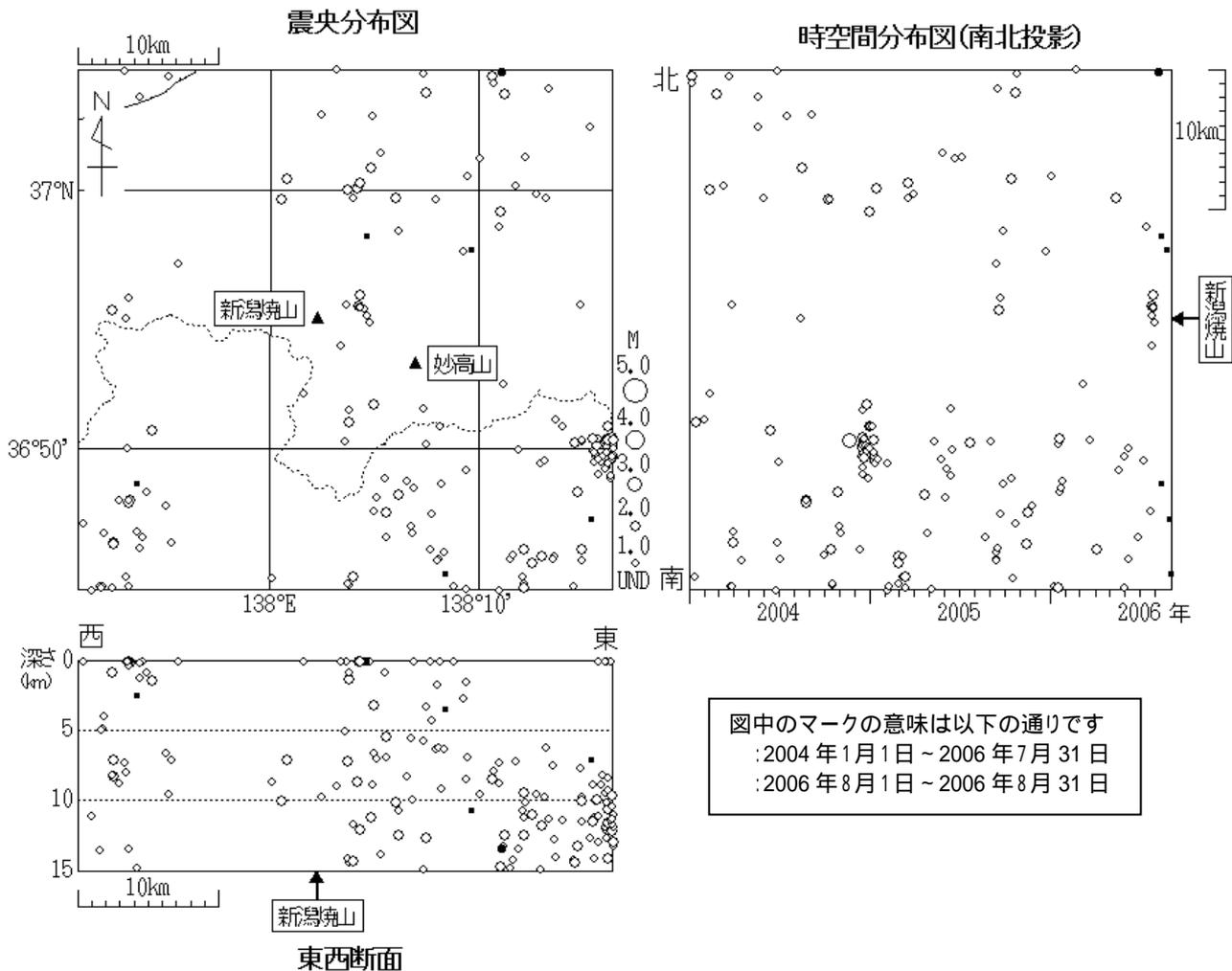


図 1 新潟焼山 山体及びその周辺の地震活動（2004 年 1 月 1 日～2006 年 8 月 31 日）

カラサワ観測点（図 3 参照）は機器障害のため欠測中につき、地震回数グラフは掲載していません。
 マグニチュード（M）は地震の規模を表します。資料中の M は暫定値で、後日変更することがあります。

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学および独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。
 本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。

山頂部の状況

山頂部からの噴気の状況に特段の異常は認められませんでした（図 2）



図 2 新潟焼山 山頂部の状況（8月16日、北東約37kmの地点から撮影）

観測点情報

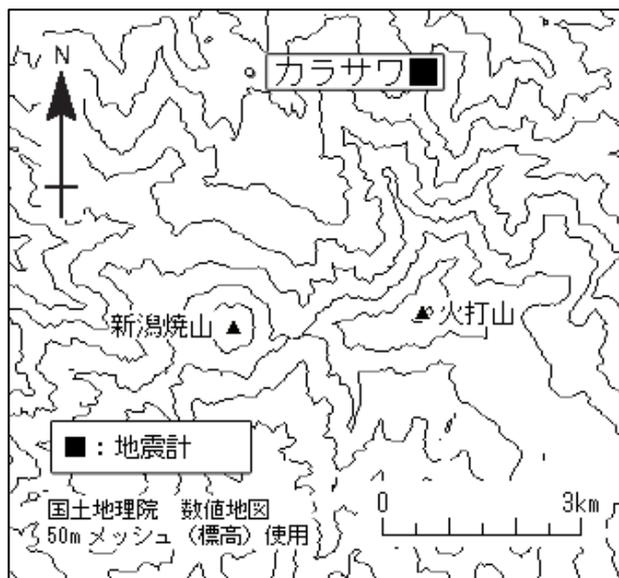


図 3 新潟焼山 気象庁の観測点配置図
（図中の小さな白丸は観測点の位置を示しています）